

## 世界文化遺産景観形成支援事業 -山中湖畔地区-



### 【活動概要】

山中湖村では、主要な観光スポットである山中湖畔地区を中心に、周辺をモデル地区として設定しています。

地区内の周辺事業者で組織された「山中湖畔まちづくり委員会」では、「新たな看板のルール」として地区内の独自ルールを定め、山梨県屋外広告物ガイドラインに沿った屋外広告物の修景および店舗の外観修景を進めており、独自ルール及び各種規制に適合した修景事業に対し、県と村より補助金を交付します。

### 【平成30年度取り組み実績】 3事業者

事例1：建植広告物の修景

事例2：各種広告物の修景・撤去、店舗の修景

事例3：各種広告物の修景・撤去、店舗の修景

### 【事業成果】

事例1：色彩についてこげ茶の板面に白文字とすることで、より周囲の環境に調和する建植広告物となりました。

事例2：特徴的なデザインの建物を、より引き立たせるような色彩と、小規模かつシンプルなデザインの広告物にすることにより、店舗全体の景観をより向上させる修景となりました。

事例3：修景前は赤と緑が大きく目を引く建物であったが、建物全体を統一した色彩にすることにより景観に溶け込み、建物自体の魅力が際立つ店舗となりました。

### 【今後について】

平成31年度も引き続き補助制度を利用して修景事業を行う予定であり、他の地区の模範となる美しい景観形成の実現に向け、引き続き事業を進めて参ります。